

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	インテリア計画Ⅱ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	5	総授業時間数	150	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	インテリア計画Ⅰで学んだ知識を実践にいかせるよう、提案力をつける訓練をする。						
授業の概要	インテリアコーディネーター試験受験とプレゼンテーション技法の習得。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 出席状況、平常点、提出物、検定結果						
使用教材	インテリアコーディネーターハンドブック（上・下）、インテリアコーディネーター1次試験過去問題徹底研究、インテリアコーディネーター用語辞典、はじめてのインテリア製図合格する図面の描き方						
履修上の注意事項							
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1-5回	インテリアコーディネーションの計画	インテリアコーディネーションのための検討事項		第34-35回	インテリアの構造・構法と仕上げ	仕上げ材と仕上げ	
第6-8回	インテリアコーディネーションの計画	生活場面の構成手法		第36-37回	インテリアコーディネーションの表現	インテリア図面	
第9回	インテリアコーディネーションの計画	リフォームの計画		第38-39回	インテリア関連の法規、規格、制度	主な関連法規	
第10-12回	安全・安心・快適な住まい	住まいの整備のための基本技術		第40回	インテリア関連の法規、規格、制度	インテリア関連の制度と表示マーク	
第13-15回	安全・安心・快適な住まい	生活行為別に見る安全・安心・快適な住まい		第41回	まとめ	インテリアコーディネーター1次試験に向けた復習	
第16回	安心できる住生活とまちづくり	ライフスタイルの多様化と住まい		第42-55回	1次試験対策	インテリアコーディネーター1次試験試験対策	
第17回	安心できる住生活とまちづくり	安心できる住生活		第56-69回	2次試験対策	インテリアコーディネーター2次試験試験対策	
第18回	安心できる住生活とまちづくり	安心して暮らせるまちづくり		第70-75回	個人指導	卒業設計のインテリア計画指導	
第19回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザインを考える					
第20-21回	バリアフリーとユニバーサルデザイン	生活を支えるさまざまな用具					
第22-25回	インテリアエレメント・関連エレメント	インテリアエレメント生活用家具					
第26回	インテリアエレメント・関連エレメント	造作部品					
第27回	インテリアエレメント・関連エレメント	ウインドトリートメント					
第28回	インテリアエレメント・関連エレメント	カーペット					
第29回	インテリアエレメント・関連エレメント	インテリアオーナメント・アートその他のエレメント					
第30回	インテリアの構造・構法と仕上げ	インテリアの構法					
第31-32回	インテリアの構造・構法と仕上げ	造作と造作材機能材料と構法					
第33回	インテリアの構造・構法と仕上げ	建具					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築法規			担当教員	藤原真由美	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築関連法令を理解し、各種法的手続きが行える能力を育てる。						
授業の概要	建築基準法、建築士法、建設業法、消防法、品確法、新バリアフリー法、P L 法等、建築に係わる基本的法律を講義する。また、各種法的手続きが行える能力を習得す。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	建築関係法令集（建築資料研究社）、図説やさしい建築法規（学芸出版社）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	法規の概要	法令集セットアップ・建築のルール・法規の体系		第19回	単体規定	一般構造・設備（各種設備）	
第2回	用語の定義	建築基準法の構成 法令用語・建築基準法用語		第20回	集団規定	敷地と道路の関係・建築制限・敷地面積の最低限度	
第3回	面積・高さ・階数の定義	各種面積・建築物の高さ・地盤面・軒の高さ・階数の算定		第21回	集団規定	建築物の用途制限・用途地域	
第4回	制度規定	建築手続きに関する用語・必要な行為等		第22回	集団規定	容積率と建蔽率	
第5回	単体規定	構造計算・構造規定・構造強度（構造耐力・木造）		第23回	集団規定	高さ制限	
第6回	単体規定	構造強度（組積造・CB造）		第24回	集団規定	防火地域	
第7回	単体規定	構造強度（鉄骨造）		第25回	消防法	建築に関わる消防について	
第8回	単体規定	構造強度（RC造）		第26回	都市計画法	都市計画、開発行為	
第9回	単体規定	防火・避難関係規定（用語の定義）		第27回	建築士法	建築士の業務・義務・事務所	
第10回	単体規定	耐火建築物・準耐火建築物		第28回	建築士法	その他	
第11回	単体規定	耐火性能検証法・避難安全検証法		第29回	建設業法	建設業・建設工事	
第12回	単体規定	防火区画・界壁		第30回	良好な建築を促進する法規	その他の関連法規	
第13回	単体規定	排煙設備・非常用設備等					
第14回	単体規定	内装制限					
第15回	単体規定	避難施設（廊下・階段・出入口）					
第16回	単体規定	一般構造・設備（各種高さ・幅等）					
第17回	単体規定	一般構造・設備（採光）					
第18回	単体規定	一般構造・設備（換気）					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	構造力学			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	3	総授業時間数	90	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築構造設計に関する基礎的な知識を習得させ、構造物を合理的に設計する能力を育てる。						
授業の概要	静定構造物の応力や断面の性質、応力度・変形・座屈の計算、不静定構造物の応力について講義し、演習を通じて解析が出来る能力を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び小テストと定期考査						
使用教材	図説やさしい構造力学（学芸出版社）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1回	力とは	基礎的な計算練習と力について	第27～28回	応力度	曲げ応力度		
第2回	力のつり合い	力の合成、分解とつり合いについて	第29～30回	応力とひずみ度	弾性係数、ヤング係数		
第3回	荷重の定義	構造モデルの表示法、荷重の種類について	第31～32回	許容応力度	許容応力度の計算		
第4～5回	反力	単純梁、片持ち梁の反力の求め方	第33～34回	座屈	座屈の計算		
第6～7回	反力	単純梁系ラーメン、3ヒンジラーメンの反力の求め方	第35～36回	たわみ	たわみとたわみ角について		
第8回	応力とは	応力の種類について	第37～38回	不静定構造	不静定構造について		
第9～10回	応力	単純梁、片持ち梁の応力の求め方	第39～40回	不静定構造	不静定構造の解法		
第11～12回	応力	単純梁系ラーメン、3ヒンジラーメンの応力の求め方	第41～44回	塑性解析	塑性解析の基礎		
第13回	トラスとは	トラス構造について	第45回	まとめ	力学のまとめについて		
第14～15回	節点法	トラスの解法について					
第16～17回	切断法	トラスの解法について					
第18～19回	断面の性質	断面1次モーメント、断面2次モーメントの解法					
第20～22回	断面の性質	断面係数、断面2次半径、断面曲次モーメントの解法					
第23～24回	変形	ひずみとひずみ度					
第25～26回	応力度	軸応力度、せん断応力度					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築施工			担当教員	岩井 一博	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	建築施工に関する基礎的知識と技術を修得させ、建築現場で実際に活用できる能力を育てる。						
授業の概要	工程計画や施工管理、各工事の施工方法、建築積算など基礎的な知識を講義する。また、現場管理人として必要な知識を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び小テスト。 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	実践につながる建築施工の教科書(学芸出版)、構造用教材（日本建築学会）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～2回	工事の概要、請負契約	建築工事概要と施工管理業務。施工者の選定、請負の種類、建設業法。		第37～38回	メーソンリー、押出成形セメント板工事	コンクリートブロック、レンガ。ALCパネル、押出成形セメント板。	
第3～4回	施工体制	現場代理人、主任技術者、監理技術者の選任、施工体系図。		第39～40回	防水工事	アスファルト防水、シート防水、塗膜防水、シーリング工事等。	
第5～6回	施工計画	施工計画書の種類、確認する内容、実例。		第41～42回	張り石工事、タイル工事	石材の乾式工法と湿式工法。タイルの種類、凍害、張付け工法、検査。	
第7～8回	工程管理	工程表の作成、マイルストーン、ネットワーク工程表の読み方。		第43～44回	木工事	木材の種類、現場施工、接合金物、防腐処理、面材耐力壁。	
第9～10回	品質管理	品質管理の方法、瑕疵担保責任、住宅の品質確保の促進等に関する法律。		第45～46回	左官工事	左官材料、下地の種類と調整、施工手順、セルフレベリング材。	
第11～12回	安全衛生管理、環境管理	労働災害の予防。建設リサイクル法、産業廃棄物。		第47～48回	屋根工事	屋根葺きの仕様と勾配、樋・ルーフトレイン、各部のディテール。	
第13～14回	材料管理	JIS, JASマークの表示、ミルシート、安全データシートの確認。		第49～50回	金属工事	表面処理の方法、接触腐食、笠木・手摺、あと施工アンカー。	
第15～16回	各種届出	建築基準法、建設業法、労働基準法、消防法等の法令順守の手続き。		第51～52回	カーテンウォール工事、ガラス工事	工法、層間変位追従性能、水密性能。ガラスの種類と特徴。	
第17～18回	測量	測量方法、地縄張り、ベンチマーク、水盛・遣り方。		第53～54回	建具工事	建具の種類、材料、性能、金物、検査方法。	
第19～20回	地盤調査	標準貫入試験、SWS試験、平板載荷試験、室内土質試験、土質柱状図。		第55～56回	内装工事、塗装工事	床・壁・天井の材料、下地、断熱。素地調整、施工方法、検査方法。	
第21～22回	仮設工事	総合仮設計画、工事動線、仮囲い、外部足場、揚重設備、安全対策。		第57～58回	設備工事	給排水衛生、空調、電気、ガス、消防。	
第23～24回	土工事	土の性質、液状化現象、山留め工事、根切り工事、地下水処理工法。		第59～60回	改修工事、建設工事用機械	防水、外壁、内装、耐震、環境配慮。	
第25～26回	杭・地業工事	地業の種類と施工方法、地盤改良工事の工法。					
第27～28回	鉄筋工事	鉄筋の種類、加工、組立、定着と継手方法、配筋検査、鉄筋のかぶり厚さ。					
第29～30回	型枠工事	型枠組立方法と使用材料、せき板・支保工の存置期間、施工検査。					
第31～32回	コンクリート工事	コンクリートの種類、品質、調合、運搬、荷卸し、打込み、締固め、養生。					
第33～34回	鉄骨工事	鋼材の種類、製作工場、溶接、建方、高力ボルト、耐火被覆、施工検査。					
第35～36回	プレキャスト鉄筋コンクリート工事	PRC工事の特徴、製造方法、部材の組立方法、目地の処理。					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	実験実習			担当教員	甘利賢一	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	実験室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	各種測量技術の基本的技術を習得させる。また、建築材料の特性を実験を通して理解させる。						
授業の概要	測量（平板測量、水準測量、セオドライト測量）の概要・使用方法を講義し、実習により基本操作方法を習得する。また、材料（木材、鉄筋、コンクリート）の基本的性質を講義し、圧縮・引張り試験により基本的特性を理解する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び実習レポート						
使用教材	建築実習１（実教出版）、建築実習２（実教出版）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1～2回	距離測量	講義、練習、演習					
第3～4回	平板測量	講義、練習					
第5～6回	平板測量	実習①、レポート作成					
第7～8回	水準測量	講義、練習					
第9～10回	水準測量	実習②、レポート作成					
第11～12回	セオドライト測量	講義、練習					
第13～14回	セオドライト測量	実習④、レポート作成					
第15～16回	鋼材	講義					
第17～18回	セメント	講義、供試体作成					
第19～20回	コンクリート	講義、調合設計					
第21～22回	コンクリート	供試体作成、スランプ試験					
第23～24回	鋼材	引張試験、レポート作成					
第25～26回	セメント	圧縮試験、レポート作成					
第27～28回	木材	講義、供試体計測、試験					
第29～30回	コンクリート	圧縮試験、レポート作成					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅲ			担当教員	片倉隆幸	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所を営む一級建築士の建築家の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する基本的な知識と技術を総合的に習得させ、図面を構想し作成する能力を育てる。 また、2級建築士レベルの建築スキルを身につけさせる。						
授業の概要	設計課題を通して、建築知識を複合して設計できる能力を習得する。 また、2級建築士 実技試験の問題を通して、実技試験に合格できる実力を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び課題						
使用教材	平行定規A2版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板他						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	第1 課題出題	2家族がシェアする週末住居の在り方		第19回	提出・講評	図面をレイアウト・模型完成・修正	
第2回	プレゼン・講評	A3プレゼンボード提出（思想をカラー ジュ）		第20回	ポスターセッション	講評	
第3回	イメージを発表	講評		第21回	題2 課題出題	まちに集う	
第4回	イメージを発表	講評		第22回	プレゼン・講評	敷地調査	
第5回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第23回	イメージを発表	講評	
第6回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第24回	実習・講評	エスキスチェック	
第7回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第25回	実習・講評	エスキスチェック	
第8回	実習・講評	平面断面エスキスチェック		第26回	実習・講評	エスキスチェック	
第9回	実習・講評	エスキスチェック		第27回	実習・講評	エスキスチェック	
第10回	実習・講評	エスキスチェック		第28回	実習・講評	作図・模型	
第11回	実習・講評	エスキスチェック		第29回	実習・講評	作図・模型	
第12回	実習・講評	エスキスチェック		第30回	ポスターセッション	講評	
第13回	実習・講評	作図・模型					
第14回	実習・講評	作図・模型					
第15回	実習・講評	作図・模型					
第16回	実習・講評	作図・模型					
第17回	実習・講評	作図・模型					
第18回	実習・講評	作図・模型					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	建築演習			担当教員	甘利賢一 藤原真由美	時期	後期
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築に関する知識を深め、卒業後受験する２級建築士 学科試験に合格する。						
授業の概要	２級建築士 学科試験の過去問題及び２級施工管理技士 学科試験の演習をする。これまで学んだ建築の知識を総合的に理解させ、２級建築士に合格できる実力を習得させる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び定期試験						
使用教材	２級建築士過去７年問題集（成美堂出版）、令和7年度 建築関係法令集（総合資格学院）						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第１～２回	建築史	日本・西洋・近代の建築史 過去問題演習・解説		第31～32回	構造力学	断面の性質等 過去問題演習・解説	
第３～４回	環境工学	伝熱・結露・換気等 過去問題演習・解説		第33～34回	構造力学	力のつり合い 過去問題演習・解説	
第５～６回	環境工学	日照・採光・色彩・音響等 過去問題演習・解説		第35～36回	構造計画	荷重・地盤・基礎構造等 過去問題演習・解説	
第７～８回	計画各論	都市計画・住宅建築 過去問題演習・解説		第37～38回	各種構造	木造・Ｓ造等 過去問題演習・解説	
第９～１０回	計画各論	社会施設等 過去問題演習・解説		第39～40回	各種構造	ＲＣ造・その他構造 過去問題演習・解説	
第11～12回	計画各論	商業施設等 過去問題演習・解説		第41～42回	材料	建築材料① 過去問題演習・解説	
第13～14回	建築設備	空調・電気等 過去問題演習・解説		第43～44回	材料	建築材料② 過去問題演習・解説	
第15～16回	建築設備	給排水衛生・消火・防災等 過去問題演習・解説		第45～46回	施工管理 現場実務	施工計画・材料管理・法手続き等 過去問題演習・解説	
第17～18回	単体規定	面積・高さ・手続き等 過去問題演習・解説		第47～48回	各種工事	仮設・鉄筋・型枠・コンクリート 過去問題演習・解説	
第19～20回	単体規定	防火・避難等 過去問題演習・解説		第49～50回	各種工事	鉄骨・ＣＢ・木 過去問題演習・解説	
第21～22回	単体規定	構造強度等 過去問題演習・解説		第51～52回	各種材料工事	防水・屋根・左官 過去問題演習・解説	
第23～24回	集団規定	容積率・建蔽率・高さ制限等 過去問題演習・解説		第53～54回	各種材料工事	塗装・吹付・石・タイル 過去問題演習・解説	
第25～26回	集団規定	日影規制・その他の規定等 過去問題演習・解説		第55～56回	各種材料工事	建具・ガラス・内装・断熱 過去問題演習・解説	
第27～28回	関係法規	建築士法・消防法等 過去問題演習・解説		第57～58回	設備工事	各種設備 過去問題演習・解説	
第29～30回	関係法規	その他の法規 過去問題演習・解説		第59～60回	測量・積算	測量・積算 過去問題演習・解説	

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	卒業設計			担当教員	甘利賢一、藤原真由美 片倉隆幸	時期	通年
単位数	7	総授業時間数	210	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	専門知識と技術を活かし、建築に関する企画・提案する能力を修得し、問題提起および解決する能力を身につける。個別のテーマを持って研究を実施する。また、発表会の場を通して、説得コミュニケーション能力を習得する。						
授業の概要	テーマを選考、行動スケジュールに従い研究を進める。研究結果は卒業作品を作成し、プレゼンテーションを行う。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び課題 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材							
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1回	第 1 課題	社会の問題点の発掘	第17回	第 5 課題	計画案の作成		
第2～4回	ゼミナール	個々のテーマに基づき発表を繰り返し、内容理解を深める	第18～45回	図面指導	指摘され箇所をブラッシュアップさせ、完成に向け、図面・模型の指導を行う		
第5回	第 2 課題	類似用途の調査	第46～47回	中間報告会①	図面原案のプレゼンテーション		
第6～8回	ゼミナール	個々のテーマに基づき発表を繰り返し、内容理解を深める	第48～68回	図面制作	C A Dや手書きにより図面制作		
第9回	第 3 課題	計画敷地の調査	第69～70回	レイアウト	プレゼンボード製作		
第10～12回	ゼミナール	個々の敷地の調査結果発表を繰り返し、内容理解を深める	第71～89回	発表準備	パワーと印との作成 模型製作		
第13回	第 4 課題	設計主旨の決定	第90～98回	発表練習	各自プレゼンテーションの練習		
第14～16回	ゼミナール	個々のテーマに基づき発表を繰り返し、内容理解を深める	第99～100回	作品審査会	各自の作品発表		
			第101～105回	手直し	コンクールに向けてブラッシュアップし、完成させる		

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーションⅡ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1 年次に身につけた伝える技術（プレゼンテーション能力）の更なる向上を目指し、ビジネスの場で必要な表現方法を身につける。						
授業の概要	1 年次に学んだプレゼンテーション技法を活用し、実践的なプレゼンテーションを行えるようにする。 また、プレゼンテーションをするため心構えも身に付ける。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及びプレゼンの完成度 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材							
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	日本人の心	日本精神について		第22~24回	【グループ】 プレゼン作成	企画に従いプレゼンテーションを作成	
第2~3回	課題設定	今後探究するテーマを考える		第25回	就職対策授業	比田井先生による 第8回 就職対策授業	
第4回	言葉力実践編 1・2	自分軸を強くするコミュニケーション能力 と文章作法を学ぶ		第26~27回	【グループ】 プレゼン発表	改善したプレゼンを発表・振り返り	
第5回	【個人】 プレゼン企画	明確な主題を設定し必要なプレゼン企画を 作成する。		第28~29回	【グループ】 プレゼンまとめ	プレゼン内容の要点をボードにまとめる	
第6回	就職対策授業	比田井先生による 第6回 就職対策授業		第30回	就職対策授業	比田井先生による 最終回 就職対策授業	
第7~8回	【個人】 プレゼン作成	企画に従いプレゼンテーションを作成					
第9回	言葉力実践編 3・4	自分軸を強くするコミュニケーション能力 と文章作法を学ぶ					
第10回	心構え①	発表者の心構え①					
第11回	就職対策授業	比田井先生による 第7回 就職対策授業					
第12~13回	【個人】 プレゼン発表	発表会を通じて、修正点を見出し改善					
第14回	言葉力実践編 5・6	自分軸を強くするコミュニケーション能力 と文章作法を学ぶ					
第15~16回	【個人】 プレゼン振り返り	修正点を振り返り、プレゼンを改善をする					
第17回	心構え②	発表者の心構え②					
第18~19回	【グループ】 リサーチ	課題に対するリサーチを深め、チームでの アイデアを反映させる					
第20~21回	【グループ】 プレゼン企画	明確な主題を設定し必要なプレゼン企画を 作成、チームでの分担を明確にする					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	2	必修選択	必修
科目名	リテラシー			担当教員	林ゆかり	時期	後期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自分に必要な、信頼できる、信ぴょう性のある情報を取得できる。ITの利点と危険性を知り、適切に利用できる。社会の一般常識の知識を得、社会人としての基礎教養をつける。						
授業の概要	情報化社会で必要なリテラシーの習得（ネットワーク・セキュリティ・基本的なIT技術）。企業活動・知的財産権・経営戦略など、会社組織の知識、社会常識として知っておきたいこと（税金・年金・貯蓄・消費税・お金の動きなど）を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び定期考査						
使用教材	改定4版 情報モラル&情報セキュリティ（FOM出版）FPT2115 ISBN:973-4-938027-52-3 発行日：2021/12/24 第4版 https://www.fom.fujitsu.com/goods/education/fpt2115.html						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1回	情報モラル	情報化社会のモラルとセキュリティ	第16回				
第2回	個人情報	個人情報の適切な取り扱い 個人情報保護法	第17回				
第3回	個人情報	個人情報の適切な取り扱い 自分の個人情報を守る	第18回				
第4回	デジタル時代の著作権	著作権と産業財産権を知る	第19回				
第5回	デジタル時代の著作権	著作権・産業財産権の権利を守る	第20回				
第6回	ネットワーク	インターネットの仕組み	第21回				
第7回	ネットワーク	コンピュータウイルスへの対策	第22回				
第8回	ネットワーク	ネット社会のトラブルと対策	第23回				
第9回	メールコミュニケーション	メールのしくみとセキュリティ	第24回				
第10回	Webコミュニケーション	情報の信頼性と信ぴょう性	第25回				
第11回	Webコミュニケーション	SNSのメリット・デメリット	第26回				
第12回	Webコミュニケーション	クラウドを使いこなす	第27回				
第13回	モバイル機器の活用と管理	モバイル機器を安全に使う	第28回				
第14回	経営戦略	企業における会計処理の概要	第29回				
第15回	労働基準法	働く若者ハンドブック	第30回				

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	インテリア計画Ⅰ			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	5	総授業時間数	150	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	基礎的な建築の知識、インテリア関連商品の知識、デザイン史について習得させ、インテリアコーディネーターとシテ取得した知識と技術を活かせる能力を育てる。						
授業の概要	インテリアコーディネーターに必要な基礎的な建築の知識、インテリア関連商品の知識、デザイン史について講義する。また、インテリアプランニングノ実習を通じ、プレゼンテーションの手法や考え方などを習得する。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 平常点、提出物、検定結果						
使用教材	リビングスタイリスト資格試験公式テキスト、インテリアコーディネーターハンドブック（上・下）、インテリアコーディネーター用語辞典、はじめてのインテリア製図合格する図面の描き方						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1回	職業理解	勉強スケジュールの説明やインテリアコーディネーターの仕事について理解する。	第43-45回	インテリア作品発表会に向けて	発表会の説明と作品の家具選定		
第2回	リビングスタイリストとは仕事の内容	リビングスタイリスト、住生活商品、店、適切なアドバイス、接客販売、仕事の心構え	第46回	インテリア作品発表会に向けて	発表会に向けたスケジュールの作成 パワーポイントの構成を決める		
第3回	リビングスタイリストに必要な知識	具体的な心の持ち方 リビングスタイリストに必要な知識とは	第47回	インテリア作品発表会に向けて	インテリアの選定と決定		
第4-6回	流通・情報	流通の仕組み、小売業の役割 小売業の分類、チェーン組織 情報の種類・収集・活用	第48-68回	インテリア作品発表会に向けて	作品制作		
第7回	マーケティング	マーケティングの基礎知識、市場調査	第69-71回	インテリアの歴史（日本）	日本のインテリアの歴史を学ぶ		
第8回	店舗演出	店舗演出の基本	第72-74回	インテリアの歴史（西洋）	西洋のインテリアの歴史を学ぶ		
第9-10回	家具	家具の分類、いす、テーブル・机、 収納家具・ベッド	第75回	インテリア作品発表会	発表会		
第11回	窓装飾	カーテン、シェード スクリーン、ブラインド					
第12回	照明	照明の基礎、光源、照明器具					
第13回	設備	キッチン、バス、トイレ その他の設備、リフォーム					
第14-16回	住生活アクセサリ	住環境における設備について学ぶ。					
第17-21回	接客販売	接客販売の仕事とは、基本業務、 事務、購買心理、話し方、立ち居振る舞い、身だしなみ					
第22回	ビジネスマナー	社会人の基本、職場の人間関係、 報告・連絡・相談、ビジネス用語					
第23回	法規	住生活産業にかかわる法律					
第24-33回	検定対策	リビングスタイリスト資格試験2級に向けて 集中的な振り返りと過去問題					
第34-37回	インテリア製図	室内パースの描き方					
第38-40回	インテリア製図	アイソメの描き方					
第41-42回	インテリア製図	2点透視図の描き方					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築計画			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	建築計画に関する環境工学、建築設備、計画各論および建築史の基礎的な知識を習得させ、建築物を合理的に計画し、設計できる能力を育てる。						
授業の概要	環境工学、建築設備、計画各論、建築史の基礎知識を講義し、建築計画の理念と意義、建築の手法とプロセス、自然環境と住生活条件との関係を修得する。また、理想的生活環境について理解を深めるとともに、基礎知識を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び定期考査 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	専門士課程 建築計画、インテリアコーディネーターハンドブック総合版						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～2回	建築環境	風土・都市環境と建築のかかわりについて理解する		第37～38回	計画の基本	建物を計画する上で必要な基本的知識を理解する	
第3～4回	外部気候	気温・湿度・風・雨の自然現象の発生、特徴について理解する		第39～40回	人間工学	人間が使いやすい寸法を理解する	
第5～6回	室内気候	温熱感覚の指標について理解する		第41～42回	住宅	戸建て住宅、集合住宅を計画するために必要な基本的な知識を理解する	
第7～8回	熱環境	伝熱・断熱の特徴を理解する		第43回	商業施設①	事務所・工場を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第9～10回	換気と通風	大気的成分、換気について理解する		第44回	商業施設②	店舗・百貨店を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第11～12回	日照・日射・日影	太陽光による影響を理解する		第45回	商業施設③	劇場を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第13～14回	色彩環境	色の表色系、心理効果を理解する		第46回	商業施設④	ホテル・寄宿舎を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第15～16回	音環境	音の基本・遮音・吸音・騒音について理解する		第47回	商業施設⑤	駐車場を計画するために必要な基本的知識を理解する	
第17～18回	冷暖房設備	冷房・暖房設備のメカニズム、種類を理解する		第48回	社会施設①	小学校・中学校を計画するために必要な知識を理解する	
第19～20回	空調設備	空調方式、種類を理解する		第49回	社会施設②	幼稚園・保育園を計画するために必要な知識を理解する	
第21～22回	換気設備	換気目的、種類、計算方法を理解する		第50回	社会施設③	病院・診療所を計画するために必要な知識を理解する	
第23～24回	電気設備	電気の基礎、配線、電気工事について理解する		第51回	社会施設④	老人福祉施設を計画するために必要な知識を理解する	
第25～26回	照明設備	照明の種類、照明計算方法を理解する		第52回	文化施設①	図書館を計画するために必要な知識を理解する	
第27～28回	搬送設備	搬送設備の種類を理解する		第53回	文化施設②	美術館・博物館を計画するために必要な知識を理解する	
第29～30回	防火防災設備	防火・防災設備の種類を理解する		第54回	文化施設③	スポーツ施設を計画するために必要な知識を理解する	
第31～32回	給水設備	給水方法、設備を理解する		第55～56回	日本建築史	日本の建築史について理解する	
第33～34回	排水設備	排水方法・設備を理解する		第57～58回	西洋建築史	西洋の建築史について理解する	
第35～36回	衛生設備	衛生設備について理解する		第59～60回	近代建築史	近代建築の変遷を理解する	

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	建築構造・材料			担当教員	甘利賢一	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	各種の建築材料の性質を理解し、適材を適所に用いる能力を育てるとともに、各種の建築構造体の全体および各部を把握することを目標とする。						
授業の概要	各種構造の概要を講義し、設計等の実践に対する応用能力を習得する。また、建築材料の基本的性質・性能を講義し、適性な材料の使用方法を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び定期考査 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	初めての建築一般構造、構造用教材、インテリアコーディネーターハンドブック総合版						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1回	建築物の変遷	建築物の材料や構造の歴史を通じこれまでの変遷を理解する	第33～34回	主体構造	柱、梁の配筋について理解する		
第2回	構造の分類	建築構造を構法・形式・材料により分類を理解する	第35～36回		床スラブ、壁、階段の配筋について理解する		
第3回	木造の特徴	木造の特徴を理解する	第37～38回	S 造の特徴	鉄骨構造の特徴を理解する		
第4～5回	木材の性質	木材の性質について理解する	第39～40回	鋼材の性質	鋼材の性質について理解する		
第6～7回	木質材料	木材の加工品について理解する	第41～42回	接合	高力ボルト接合、溶接について理解する		
第8回	在来軸組み工法	構成について理解する	第43～44回	骨組	梁、柱、筋交い、柱脚について理解する		
第9～10回		木材の接合について理解する	第45～46回		基礎、床組、階段、耐火被覆について理解する		
第11～12回	地業と基礎	地業・基礎の種類と特徴を理解する	第47回	S R C 造	鉄骨鉄筋コンクリート造について理解する		
第13～14回	軸組	軸組の構造と筋交いについて理解する	第48回	C B 造	補強コンクリートブロック造について理解する		
第15～16回	小屋組	小屋組について理解する	第49回	その他の構造	プレストレスト構造等について理解する		
第17～18回	床組	床組について理解する	第50～51回	仕上げ①	防水、屋根について理解する		
第19回	階段	階段について理解する	第52～53回	仕上げ②	外壁、床について理解する		
第20～22回	枠組壁工法	構成・規格・接合方法を理解する	第54～55回	仕上げ③	内壁、天井について理解する		
第23～24回	構造用大断面 集成材構法	構造の特徴、架構方式、接合方式を理解する	第56～57回	仕上げ④	階段、収納、床の間について理解する		
第25～26回	R C 造の特徴	鉄筋コンクリート造の特徴、構造形式を理解する	第58回	開口部①	建具金物について理解する		
第27～28回	鉄筋とコンクリート	鉄筋、コンクリートそれぞれの性質、特徴を理解する	第59回	開口部②	外部建具の種類について理解する		
第29～30回	配筋の基本	付着、定着、あき、かぶり厚さ等の基本的事項を理解する	第60回	開口部③	内部建具の種類について理解する		
第31～32回	基礎、地盤	基礎形状、地盤の特徴を理解する					

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅰ			担当教員	藤原真由美	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所勤務経歴をもつ一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を習得させ、設計図などを正しく読み取る能力を育てる。						
授業の概要	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を講義し、実技実習を通して、木造ならびに鉄筋コンクリート造等の図面を描ける能力を習得する。また、快適な建築空間を提案できる能力を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	建築デザイン製図（学芸出版社）、平行定規A 2 版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板 他						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	練習	製図の線・文字の練習をする。		第25回	制作課題2	課題説明、コンセプト設定、ゾーニング 検討	
第2回	スケッチ1	抽象画を描く。		第26回		エスキス検討	
第3回	スケッチ2	風景と建物を描く。		第27回		エスキスモデル制作	
第4回	トレース1	配置図・平面図の説明		第28回		ドローイング	
第5～7回		配置図・平面図トレース		第29回		ドローイング	
第8回	トレース2	立面図の説明		第30回		プレゼンテーション、発表と講評	
第9～11回		立面図のトレース					
第12回	トレース3	断面図・展開図の説明					
第13～15回		断面図・展開図のトレース					
第16～18回	表現技法	アイソメとパースの説明、描写、着彩					
第19回	制作課題1	課題説明、コンセプト設定、ゾーニング 検討					
第20回		エスキス検討					
第21回		エスキスモデル制作					
第22回		ドローイング					
第23回		ドローイング					
第24回		プレゼンテーション、発表と講評					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	設計製図Ⅱ			担当教員	甘利賢一	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	設計事務所勤務経歴をもつ一級建築士の教員が、実務経験を踏まえて指導を行う。				
授業の到達目標	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を習得させ、設計図などを正しく読み取る能力を育てる。						
授業の概要	設計製図に関する日本工業規格および製図の基礎的な知識と技術を講義し、実技実習を通して、木造ならびに鉄筋コンクリート造等の図面を描ける能力を習得する。また、快適な建築空間を提案できる能力を習得する。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び課題						
使用教材	平行定規A 2 版、三角スケール、三角定規、製図用シャープペン、型板 他						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	制作課題 1	課題説明		第16回	制作課題 2	エスキスモデル製作	
第2回		デザインの検討		第17回		ドローイング	
第3回		コンセプト、ゾーニング検討		第18回		ドローイング	
第4回		エスキス検討		第19回		プレゼン準備	
第5回		エスキス検討		第20回		発表と講評	
第6回		エスキスモデル製作		第21回	制作課題 3	課題説明	
第7回		ドローイング		第22回		デザインの検討	
第8回		ドローイング		第23回		コンセプト、ゾーニング検討	
第9回		プレゼン準備		第24回		エスキス検討	
第10回		発表と講評		第25回		エスキス検討	
第11回	制作課題 2	課題説明		第26回		エスキスモデル製作	
第12回		デザインの検討		第27回		ドローイング	
第13回		コンセプト、ゾーニング検討		第28回		ドローイング	
第14回		エスキス検討		第29回		プレゼン準備	
第15回		エスキス検討		第30回		発表と講評	

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース		年次	1	必修選択	必修
科目名	建築基礎			担当教員	片倉隆幸	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義＋演習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	世界に影響を与えた建築家の考え方と名作住宅の表現技法を学ぶ。模型製作を通して建築の美しさをつくり方の作法を学ぶ（模型製作は、学生の進行状況を見て考える）						
授業の概要	20世紀 世界中に強く影響を与えた名作住宅を分析しながら住宅の美しさ、快適さ、巧みなアプローチ、等々様々な方法を探る。また建築家の生きた時代背景を探り現代の建築思潮を考える。						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び課題 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	建築を知る 世界で一番美しい名作住宅の解剖図鑑 増補改訂版 その他 表現技法の本 ポール・ルドルフ等 模型制作のため カッター 定規 スコヤ等各自用意						
履修上の注意事項	模型製作の場合基本的な図面が揃っている作品を抽出する。						
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	建築家とは何をする人1	パワーポイントにて建築家とは？住まい方の思想		第19回		考察＆作業	
第2回	建築家とは何をする人2	建築を知る 世界で一番美しい住宅の解剖図鑑を俯瞰する		第20回		考察＆作業	
第3回	名作住宅1	考察		第21回	名作住宅7	考察	
第4回		考察		第22回		考察	
第5回		ポスターセッション		第23回		ポスターセッション	
第6回	名作住宅2	考察		第24回	名作住宅8	考察	
第7回		考察		第25回		考察	
第8回		ポスターセッション		第26回		ポスターセッション	
第9回	名作住宅3	考察		第27回	名作住宅9	考察	
第10回		考察		第28回		考察	
第11回		ポスターセッション		第29回		ポスターセッション	
第12回	名作住宅4	考察＆作業		第30回	私＋建築＋地域＋地球のこと	ディスカッション	
第13回		考察＆作業					
第14回		考察＆作業					
第15回	名作住宅5	考察＆作業					
第16回		考察＆作業					
第17回		考察＆作業					
第18回	名作住宅6	考察＆作業					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	CAD演習			担当教員	藤原真由美	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	演習	授業場所	パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	C A Dに関する基礎知識を習得させ、操作技術能力を養う。また、設計図の理解力を深める。 C A D、模型、スケッチでの表現力を高める。建築プレゼンテーションの方法を学ぶ。						
授業の概要	C A Dに関する基礎知識の講義し、並びに演習により設計図の理解力を深め、操作技術を修得する。 J W C A D、A u t o C A Dを使いC A Dに関する基礎知識と操作技術を習得する。						
成績評価方法	出欠状況と授業態度及び課題						
使用教材	Jw_cadで学ぶ建築製図の基本（エクスナレッジ）、インテリアデザイナーハンドブック（上・下）（ハウジングエージェンシー） はじめて学ぶAutoCAD2025作図・操作ガイド						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容		単 元	内 容		
第1回	建築表現の基本	建築設計製図、CADの概要説明					
第2～3回	Jw_CAD 基本操作	画面構成、アイコン、基本設定					
第4～5回	作図の基本	線の作図と編集、矩形と円・円弧の作図と編集、文字・寸法の記入					
第6回	作図の準備	用紙サイズの設定、レイヤと縮尺、専属性、図面枠の作成					
第7～9回	作図	1階平面図					
第10～13回	作図	2階平面図、屋根伏図					
第14～16回	作図	断面図、立面図、印刷					
第17回	AutoCAD 基本操作	画面構成、アプリケーションメニュー、マウス操作、ファイル管理					
第18回	作図の基本 図形の編集	直線、円、円弧、削除、四角形等図形の移動・複写・尺度変更など					
第19回	画層の管理 文字と寸法線	画層の作成と管理、図面枠作成 文字設定と入力、寸法設定と入力					
第20～22回	作図	配置図・平面図・屋根伏図					
第23～25回	作図	立面図・断面図					
第26～27回	作図	図面の整理、印刷					
第28～30回	レイアウト	画像データの挿入方法 プレゼンボード					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーションⅠ			担当教員	丸山めぐみ	時期	通年
単位数	4	総授業時間数	120	授業形式	演習	授業場所	普通教室 パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自らが自分の考えを持ち、それを伝えるための手段や方法を身に付け、様々なプレゼンテーション演習を通して説明する力や相手を納得させることができる表現力の向上を目指す。						
授業の概要	プレゼンテーションの必要性を理解した上でテクニックを習得し、実際に発表する機会を数多く体験することで聞き手の心に届く発表ができるよう伝え方の上達を目指す。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 出席状況、授業態度、発表態度、作品完成度、発表会成績						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項	合同プレゼン大会には必ず参加すること。						
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	プレゼンテーション概要	授業の目的、到達目標、授業の流れ・目的、プレゼンテーションとは		第31～38回	グループワーク 課題1	発表会準備（制作指導）	
第2回	プレゼンテーション講義1	聞き手の階層構造		第39回	グループワーク 課題1	リハーサル	
第3回	プレゼンテーション講義2	論理的アプローチ 感情的アプローチ		第40～42回	グループワーク 課題1	発表会	
第4回	プレゼンテーション講義3	わかりやすいプレゼンテーション 情報伝達のコツ		第43～44回	制作実習	アイデアをA3用紙1枚にまとめよう	
第5～6回	自己分析1	マインドマップ制作 グループ内発表		第45～49回	伝える技術 個人課題3	ビブリオバトル 作品制作 本の魅力を伝えよう	
第7回	伝える技術	ロジカルシンキング		第50回	伝える技術 個人課題3	ビブリオバトル 発表会	
第8回	伝える技術	話の構成 序論・本論・結論		第51回	自己分析2	ジョハリの窓 体験	
第9回	伝える技術 個人課題1	スピーチ実践（発表）		第52回	プレゼンテーション 講義4	アサーション技法	
第10～14回	伝える技術	PowerPoint操作		第53～54回	グループワーク 課題2	マネーゲーム	
第15～20回	伝える技術 個人課題2	作品制作		第55～56回	グループワーク 課題2	株式会社をつくろう 起業体験 株式会社設立シミュレーション	
第21回	伝える技術 個人課題2	実践（発表会）		第57～58回	グループワーク 課題2	求められる社会人像	
第22～23回	グループワーク 課題1	ブレインストーミング・KJ法		第59回	伝える技術 個人課題4	賛否を問う 私ならこう考える①	
第24～30回	グループワーク 課題1	発表会準備 社会をよりよくするアイデア		第60回	伝える技術 個人課題4	賛否を問う 私ならこう考える②	

2025年度 授業計画（シラバス）

[illegible]

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	自己表現			担当教員	菱川容子	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室又は 大会議室
実務教員	○	実務経験	テレビ局でのアナウンサー経験を活かし、思いを伝えるのための発声や呼吸法等の指導を行う。				
授業の到達目標	「伝える力」を培い、あらゆる場面で役立つ表現力を身につける。						
授業の概要	基礎となる発声や呼吸法の練習のほか、あがり症克服のメンタルトレーニング、スピーチの基礎を織り交ぜながら、プレゼンテーションや面接など、場面を想定して練習を行う。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。出席状況と授業態度による。						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	目的・発声確認	目的・進め方・学びのポイント 発声チェック		第16回	説明力・図形	説明する力と聴く力を育む 地図の説明で実践	
第2回	あがり症	あがりのメカニズム アイスブレイク		第17回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム①	
第3回	腹式呼吸	腹式呼吸とは 腹式呼吸練習		第18回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム②	
第4回	発声と発音	発声のしくみと発声練習 正しい発音と発音練習		第19回	間・静と動	朗読により間をとる練習	
第5回	発声と発音	喉の開け方トレーニング		第20回	スピード	朗読でスピードコントロール練習	
第6回	表情と姿勢	表情筋トレーニング 姿勢チェック		第21回	音域	朗読で音域を広げる意識づけ	
第7回	自己紹介	原稿を考えグループ内で発表		第22回	言葉を紡ぐ	アウトプットの練習 与えられた題材からスピーチ	
第8回	自己紹介	クラスで発表		第23回	言葉を紡ぐ		
第9回	朗読	朗読でこれまでの学びの実践 ①腹式呼吸 ②姿勢 ③視線 ④強い発声		第24回	即答力	シャッフルスピーチで練習	
第10回	朗読			第25回	即答力		
第11回	身体	言葉を届ける身体トレーニング		第26回	朗読	朗読で学びを定着させる	
第12回	スピーチ	伝わるスピーチの学びと実践 与えられたテーマで原稿作成・発表 ①語尾 ②スピード ③間		第27回	面接	面接を想定し、姿勢、視線、表情、 強い発声を主軸に練習	
第13回	スピーチ			第28回	スピーチ	各自のテーマでスピーチ発表	
第14回	質問力	相手の話を聴くコミュニケーション		第29回	スピーチ		
第15回	社交不安症	赤面、視線恐怖などについて理解を 深める		第30回	学習まとめ	1年の学びの総復習	

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	言葉力			担当教員	山極学	時期	半期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	「言葉は心に届いて初めて言葉」を目標に、読書によって得た美しい言葉を、自分の経験と重ねて「自分の言葉」にする。						
授業の概要	読み手の気持ちを考慮しつつ、相手に伝わる正しい文章を書く練習を重ねながら、自信を持って文章を書く力を養う。						
成績評価方法	出席状況と授業態度による						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	文章を書く目的	読み手を意識した文章の書き方					
第2回	映像を言葉へ	映像を読み手と共感する文章					
第3回	書くための準備	考える習慣を持つことの大切さ					
第4回	情報と知識	情報と知識の違いを理解する					
第5回	構成メモ	文章の設計図「構成メモ」					
第6回	文章の構成	様々な構成法を活用する					
第7回	時系列	時間の流れにそって書く文章					
第8回	マクロからミクロ	大きな視点から小さな視点へ					
第9回	主語と述語	主語と述語の関係を意識する					
第10回	修飾語と被修飾語	修飾語と修飾される言葉の距離					
第11回	文末の統一	「です・ます」と「である・だ」の違い					
第12回	読点・接続語・助詞	正しい使い方で文章をわかりやすくする					
第13回	指示語	「あれ」「これ」「それ」の違い					
第14回	話し言葉	話し言葉やら抜き言葉を使った文章					
第15回	まとめ	自分の言葉で伝える文章					

2025年度 授業計画（シラバス）

学科	建築インテリア科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	キャリアプランニング			担当教員	藤原真由美	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自己分析、業界・企業研究の仕方や就職するために必要なスキルを身につけ、自らが積極的に就職活動を行うための準備をする。また、なぜ働くのか、働くにあたって大切にすべきことは何かを考え、企業に必要とされる「人財」を目指す。						
授業の概要	テキストで基礎的な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーションについて学ぶ。 当校オリジナルテキストを使用して就職活動のノウハウ（やり方）と心構え（あり方）を学ぶ。						
成績評価方法	授業態度、課題・宿題提出状況 成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。						
使用教材	社会人常識マナー検定テキスト3級(全経)、就職活動テキスト						
履修上の注意事項							
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	就職活動について	就職までの流れ、授業のルール 履歴書の説明		第22回	第4回 就職対策授業	比田井先生による就職対策授業	
第2回	第0回 就職対策授業	比田井先生による就職対策授業		第23回	業界研究	建設業界について知る	
第3回	第1編 社会人の自覚	ビジネスパーソンとしての自覚 都道府県		第24回	企業研究	企業検索をしつつ、面接ラリーで受験 する企業を決める	
第4回	キャリアを理解する	キャリアは自分のもの 都道府県と県庁所在地		第25回	履歴書	履歴書の書き方説明 志望動機	
第5回	第1回 就職対策授業	比田井先生による就職対策授業		第26回	履歴書	自己PR	
第6回	会社組織の 成り立ち	会社組織、スキルと能力 美文字用履歴書練習		第27回	履歴書	すべての項目を埋める	
第7回	変動する社会 履歴書	多様な変化 美文字用履歴書 完成		第28回	履歴書	封筒の書き方 添え状作成	
第8回	雇用形態の多様化	働き方と価値観 百分率・割合・歩合		第29回	履歴書	清書	
第9回	第2回 就職対策授業	比田井先生による就職対策授業		第30回	面接	就職面接試験対策、面接練習	
第10回	目標の重要性 自己分析	目標が持つ意味 自分の性格を考える		第31回	第5回 就職対策授業	比田井先生による就職対策授業	
第11回	第2編 コミュニケーション	ビジネスにおけるコミュニケーション 他人から見たわたし		第32回	就職対策	仕事の選び方 求人票の見方	
第12回	敬語を使いこなす	敬語、丁寧語、謙譲語 なぜ就職活動をするのか、決意		第33回	就職対策	就活サイト利用登録 適性検査、ウエナビの使い方	
第13回	交際業務	慶事のマナー 弔辞のマナー 得意な分野、科目、休日について		第34回	就職対策	就職活動のための公欠取得について 報告書の書き方	
第14~17回	美文字	梅岡隼子先生による美文字講座					
第18回	第3回 就職対策授業	比田井先生による就職対策授業					
第19回	ビジネスメール	メールアドレス取得 ビジネスメールの送り方					
第20回	ビジネス文書	社内文書、社外文書 種類と形式・取扱いについて					
第21回	ビジネスマナー	職場のマナー、おもてなし 自己PR					